

授業での活用（実践報告例）

【音楽科】

1) 使用ソフト名（価格）

- ・カメラ ・写真
- ・YouTube ・インターネット

2) 使用状況

学年	学科	科目	週あたりの使用率 (使用時間数/授業時数)
本1	普通科	音楽	2 / 2
本1・2	重複障がい学級	音楽	2 / 2

3) 使用例および生徒の反応

- ①新しい楽曲に取り組む際に、導入として YouTube で楽曲を視聴してから取り組んでいる。リズムの認識やイメージをもつことで、生徒も学習に取り組みやすそうである。
- ②創作課題の授業で、生徒が書いた楽譜を写真に取り、提示することに使用している。アイデアを共有することでヒントを得たり、理解を深められるだけでなく、修正してもすぐに提示できる。また、自分の書いた楽譜がそのまま提示されるので、丁寧に楽譜を書くよう心がけるようになり、合わせて正しい記譜法を教授できる。
- ③実技テストの際に、カメラで録画し生徒にフィードバックするようにしている。客観的に観ることで、できなかったことが、どれだけできるようになったのか、自信を持てたり、次回の目標にすることを明確にし、振返ることで、意欲的な授業参加につながっている。また、成績評価の記録としても使用している。

4) 今後の展望、工夫等

- ①自分の興味のある音楽を調べさせて発表し、生徒間で紹介し合うなど、コミュニケーション活動をより増加し言語活動の充実を図っていきたい。
- ②無料のキーボードアプリの活用と楽譜のクラウド提示により、行事等で授業がなくなった際の補充や発表前の自主練習として活用できる。